

TOM'S

51082-TZN80-# GR 86 サイドディフューザー

取付・取扱用説明書

この度はトムス サイドディフューザー（以下、ディフューザー）をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。本製品の取付け方法を以下に記します。正しい取付けをお願いいたします。

本取付説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等でご不明な点は、整備解説書等をご参照ください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

本商品は未登録車への取付けはできません。必ず車両登録後に取付けを行ってください。

本書（取付 / 取扱説明書）は、必ずご使用になるお客様へお渡しください。

■品番・適合車種：本製品は以下の車種に対応しています。（2021 年 10 月）

※最新の適合情報は、ウェブサイトをご参照ください。（<https://www.tomsracing.co.jp/>）

品番	塗装色	備考
51082-TZN80-F	フラットブラック	2021.10 ～ GR 86(ZN8)
51082-TZN80-Z	素地	※トヨタ純正用品、他社製エアロパーツとの併用はできません。

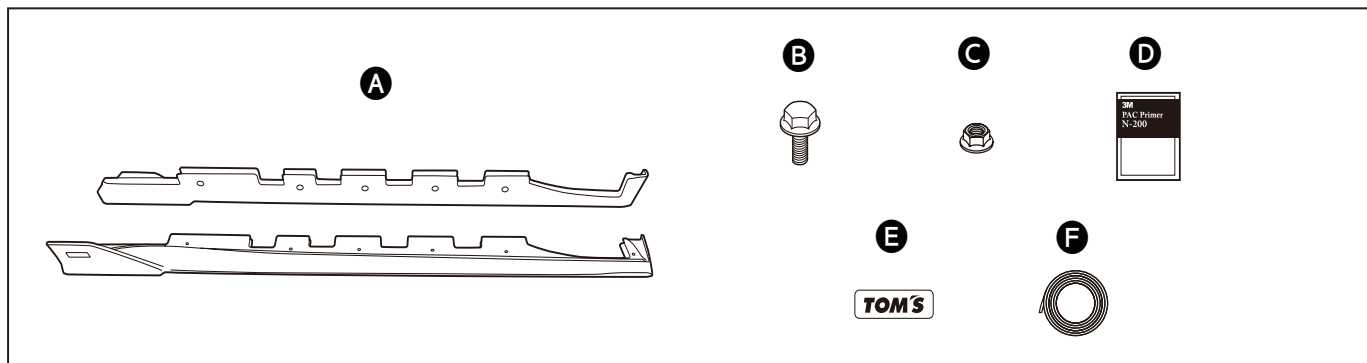
■構成部品：本製品は以下のパーツで構成されております。欠品や破損等がないことをご確認ください。

No.	品名	個数	備考
A	サイドディフューザー（L & R）	各 1	
B	M6 フランジボルト（M6 × 16 mm）	14	
C	M6 ナット	14	
D	PAC プライマー	1	
E	トムスエンブレム	2	

※本製品が到着後、すぐに本体に破損がないこと、付属品が全て揃っていることをご確認ください。

以下、素地品（51082-TZN80-Z）にのみ同梱。※塗装品については貼付け済み。

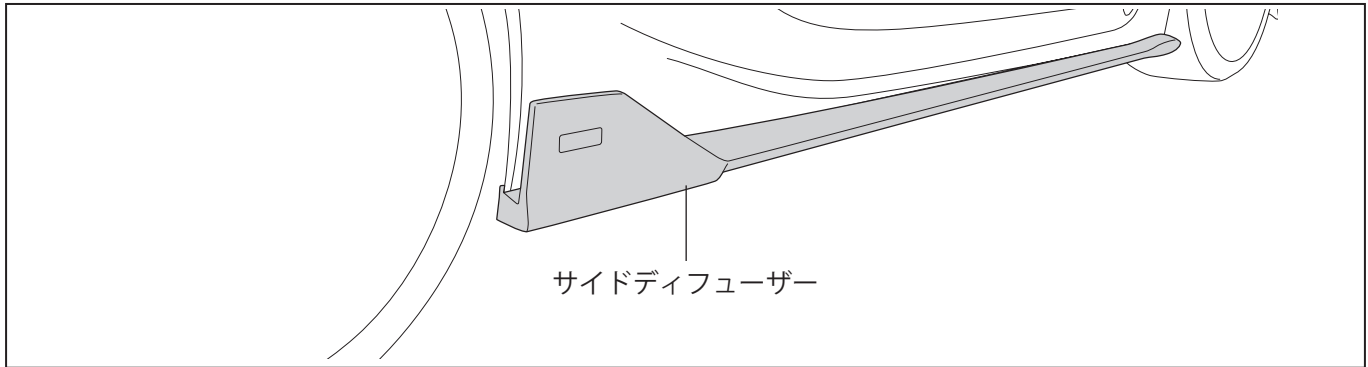
No.	品名	個数	備考
F	両面テープ 0.8mm	10	



■取付けに必要な工具・保護具・消耗品

- ・一般工具
- ・加工用工具（ハサミ・カッター・キリなど）・ヤスリ
- ・電動ドリル（刃：2.0 / 7.0 mm）・保護メガネ
- ・軍手・保護シート・保護（養生）テープ・マスキングテープ
- ・ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）
- ・清潔なウエス

■取付構成図



■取付時のご注意（取付作業の方へ）：作業を行う前に必ずお読みになり、安全で確実な取付け作業を行ってください。

**警告**

この内容に従わず、誤った取付け・取扱いを行うと生命の危険、または、重大な傷害などを負う可能性がある内容について記載しています。

**注意**

注意事項を守らないで、誤った取付け・取扱いを行うと、事故に繋がったり、ケガをしたり、車両を損傷するなどの恐れがある事を記載しています。

**注意**

取付け前（素地品は塗装前）に、必ず製品をご確認ください。
取付け後（または塗装後）は交換等に応じられません。

**アドバイス**

スピーディに作業していただく上で、知っておいていただきたい事を記載しています。

⊘ やってはいけないこと ⚠ 必ず行っていただくこと

⚠ 警告

- ⊘ 本商品への改造、加工及び適合車種以外への装着は、重大な事故や故障を招く恐れがありますので、絶対に行わないでください。
- ❶ 本製品を取付け、交換は、当該車両の修理書（トヨタ自動車㈱）に従い、かつ本書の注意事項をまもり作業を行ってください。
- ❶ 取付けは規定トルクに従って、確実に締め付けをしてください。締め付けが足りないと脱落などにより、重大な事故や故障を招く恐れがあります。

⚠ 注意

- ❶ 本製品を取付け前に、構成部品（P1の表参照）が全て揃っていること、損傷や不具合などがないかを確認してください。塗装後、取付け後に発覚した損傷や不具合に対するクレームには応じられない場合があります。
- ❶ 本製品の取付けは、必ず作業員2名で行ってください。

脱脂作業について

- ❶ 脱脂作業を行う際は、清潔なウエスを使用して、ホワイトガソリン、イソプロピルアルコール（IPA）を使用して確実な脱脂を行ってください。
- ❶ 脱脂作業にボディーコーティング等の下地処理剤や、パーツクリーナー、ブレーキクリーナー、シンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。正しく脱脂が出来ず浮き、剥がれの原因となります。

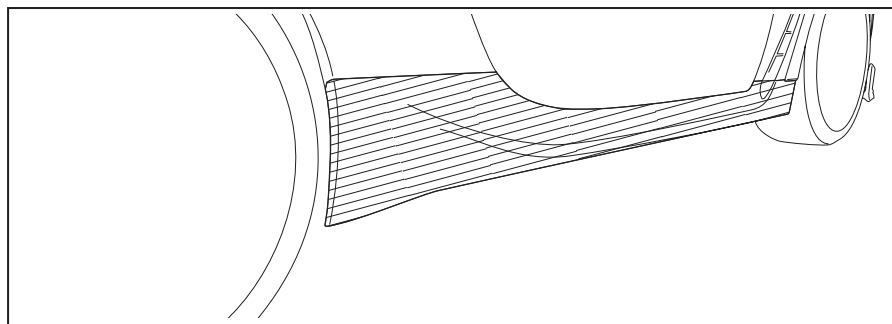
両面テープについて

- ❶ 脱脂作業を怠ると両面テープを接着しても剥がれます。
- ❶ 両面テープは一度貼付けてから剥がしますと、接着力は低下しますので再貼付けはできません。
- ❶ 本商品の両面テープは、環境温度が20℃以下の低温時には接着能力が著しく低下します。温度が足りないと両面テープが剥がれます。
- ❶ 両面テープの圧着は49 N（5kgf/cm²）以上（車両が軽く揺れる程度）で確実に行ってください。圧着が足りないと両面テープが剥がれます。
- ⊘ 本商品の取付け後3～5時間程度は、洗車や水（水拭きを含む）・雨などが、かからないようにしてください。装着後の注意事項を守らなかった場合、製品の浮き、剥がれの原因となります。

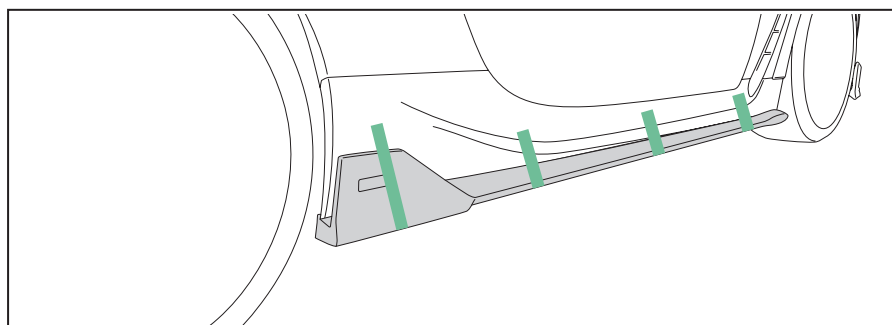
取付けが終わったら

- ❶ 取付け後、本商品と車両との干渉が無いことを確認してください。
- ❶ 作業にバッテリーのマイナス端子を外した場合は、作業終了後にシステム設定・確認を行ってください。本取付けに伴い分解・脱着した部位により、再設定・調整が必要となる場合があります。
- ❶ 該当車両の修理書（トヨタ自動車㈱発行）に従い、各部の点検・調整・設定を行ってください。

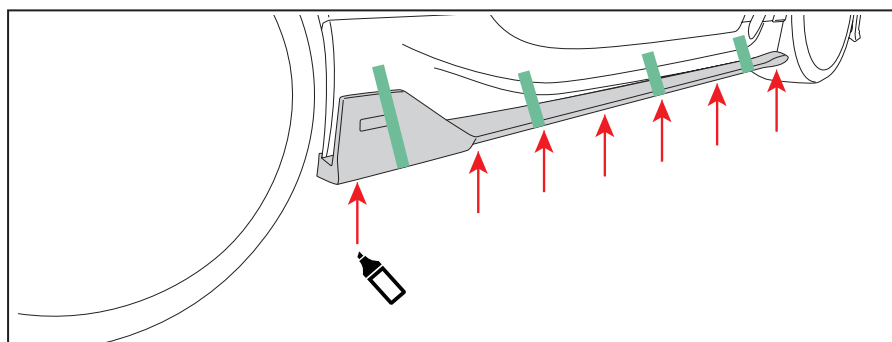
■サイドディフューザーの仮組み (※説明は運転席側です。助手席側も同様に作業してください。)



- ① **A** ディフューザー取付け範囲 (斜線部) を綺麗なウエス等で清掃します。

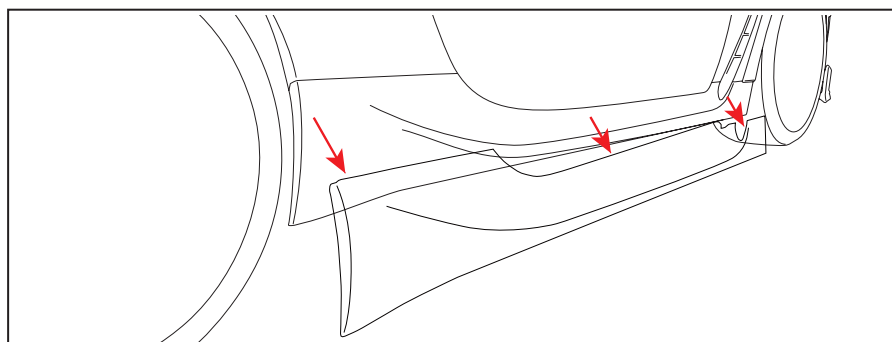


- ② **A** ディフューザーを車両へ仮合わせをします。位置及びクリアランスが均等であることを確認した後、養生テープ等で車両へ貼付けます。

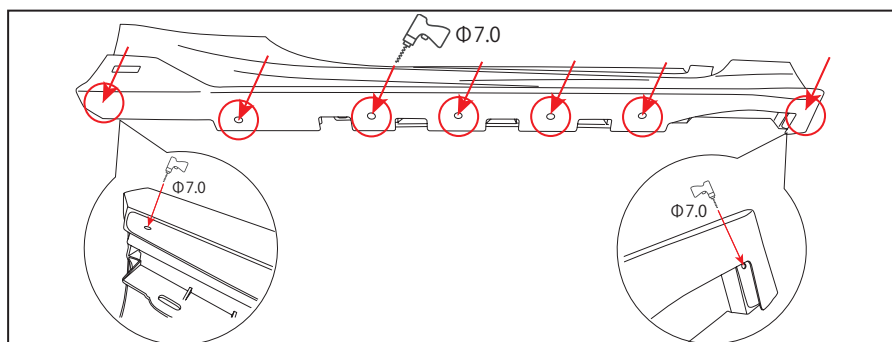


- ③ ディフューザー下部の穴位置をマジック等で車両へマーキングをします。(片側7箇所)

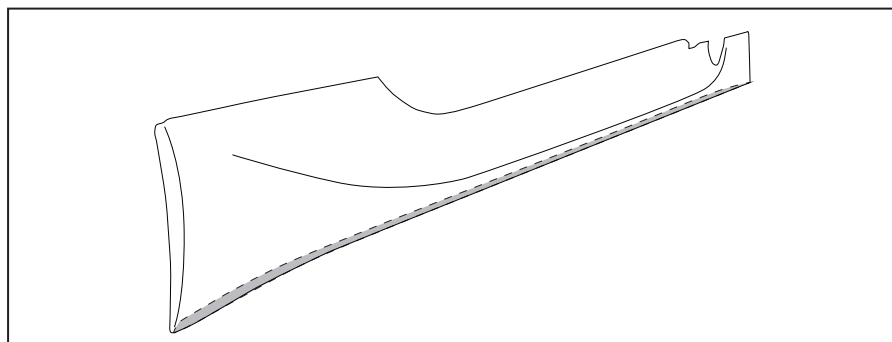
■サイドディフューザーの取付け (※説明は運転席側です。助手席側も同様に作業してください。)



- ④ (株)トヨタ自動車発行の修理書に従い、ロッカーパネルモールディングを取り外します。
※取り外したクリップやボルト等は再使用します。大切に保管してください。



- ⑤ ③でマーキング位置へ7Φドリルを使用して穴を開けます。(片側7箇所)

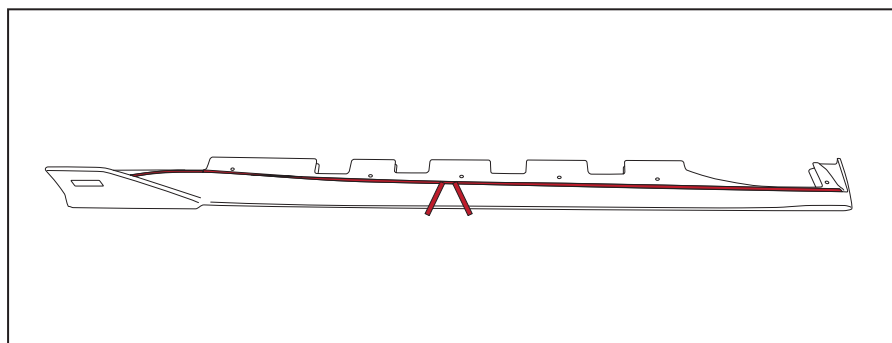


- ⑥ ロッカーパネルモールディングの両面テープ貼付面（色付き）をホワイトガソリンまたはイソプロピルアルコール（IPA）を使用して脱脂をおこなった後、**D**プライマーを塗布します。

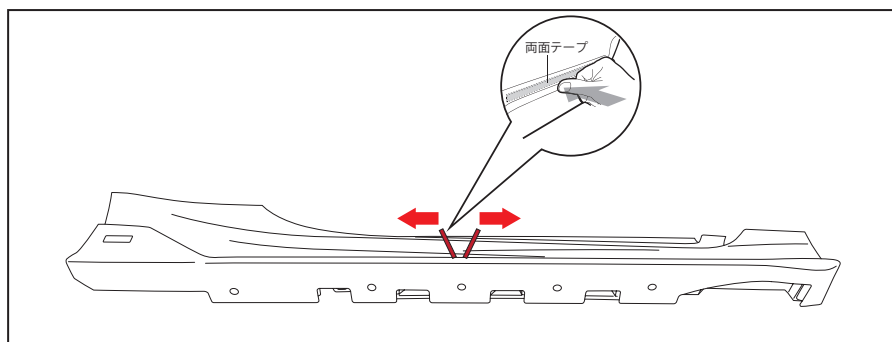


注意

プライマー使用に際しては、3MPAC プライマー N200 取扱説明書に従い使用する。
乾燥の標準状態：23℃で10分～3時間ほこりや汚れ水滴が付着しないようにしながら、十分に乾燥させる。気温 15℃以下では、加熱器を使用して温める。塗装面を黄変させる為、はみだしたプライマーはアルコール等で拭き取る。

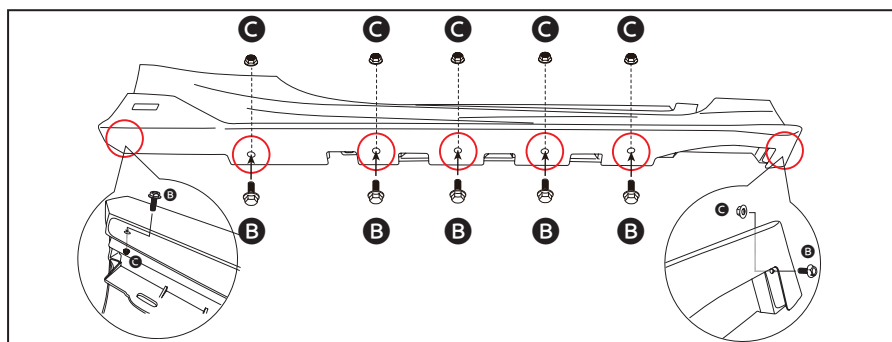


- ⑦ **A**ディフューザーの両面テープ離型紙を50 mm程剥がし、外側に向かって折り曲げます。

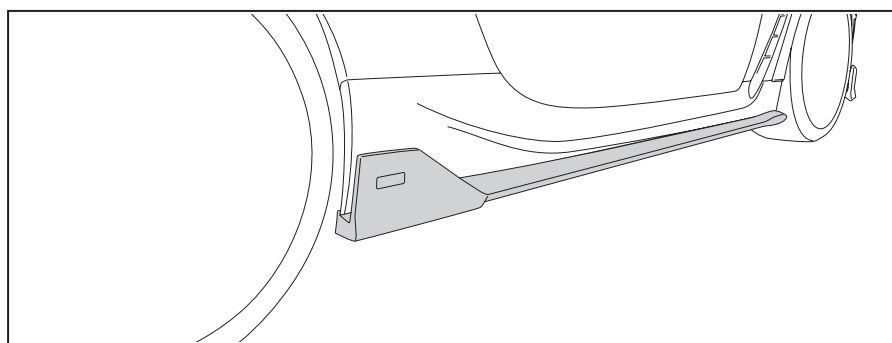


- ⑧ **A**ディフューザー全体のバランスを再度確をし、ゆっくりと離型紙を引抜きながら、両面テープをバンパーへ圧着させます。

両面テープの圧着は、【49N（5kgf/cm²）】で行う。目安としては、車両が少しゆれる程度です。両面テープの粘着面全体をまんべんなく圧着します。

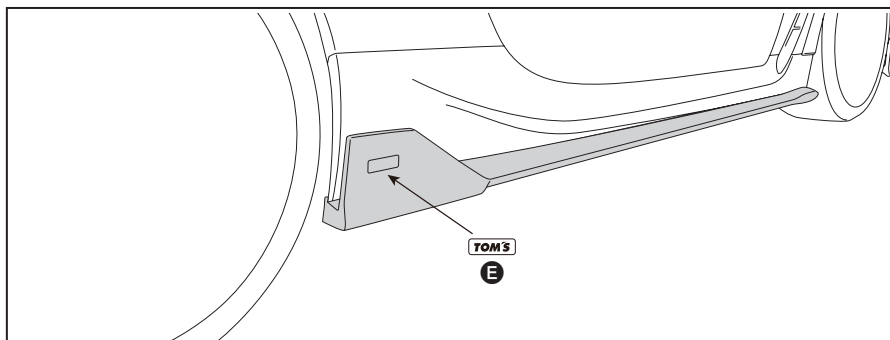


- ⑨ **A**ディフューザーをロッカーパネルモールディングへ**B** M6 フランジボルトと**C** M6 ナットを使用し取付けます。（片側7箇所）



- ⑩ (株)トヨタ自動車発行の修理書に従い、ロッカーパネルモールディングを車両へ取付けます。

- ⑪ 再度、各取付け部に緩みがないことを確認します。



- ⑫ トムスエンブレム貼付け面をホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール (IPA) を使用して脱脂を行い、**E** トムスエンブレムを貼り付けます。

■取付け完了後の確認、点検、及び注意事項



注意

- 1 : **A** ディフューザーが車両に確実に取付けられているかを点検する。
- 2 : 製品全体に、浮き、剥がれの無いことを確認、点検する。

両面テープの接着力は安定するまで3～5時間程度必要です。最低3時間程度洗車はせず、また強い振動や風圧がかからないよう、静止時間を確保してください。圧着が不十分な場合、浮きや剥がれなどの原因となり脱落などが発生し、大事故につながる恐れがあります。

■素地品の塗装手順

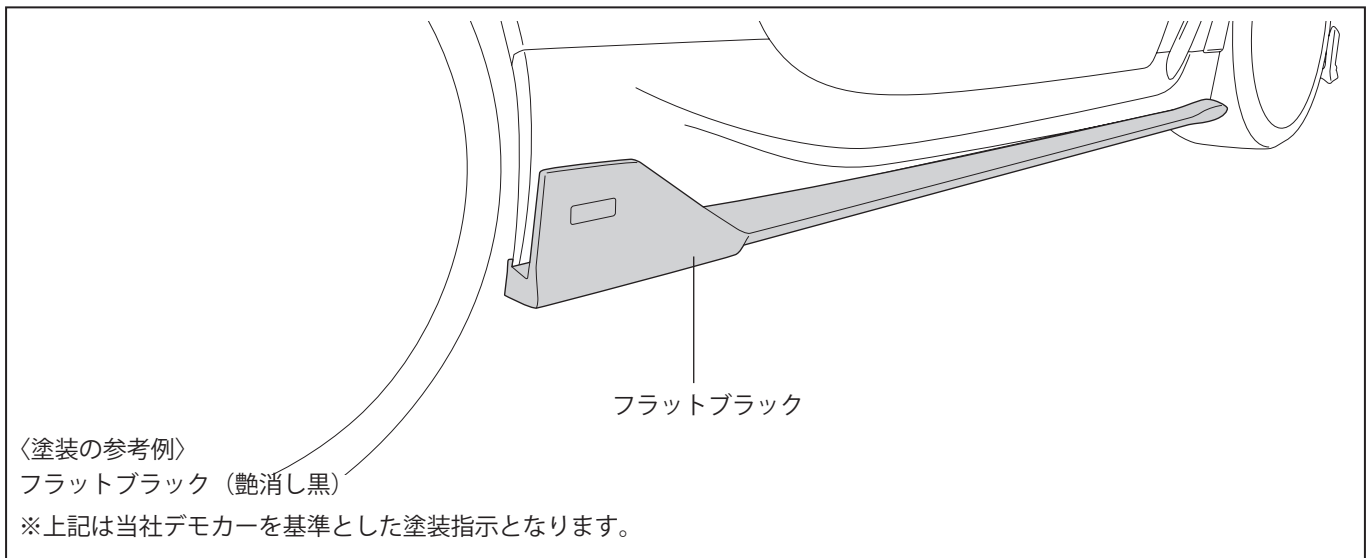
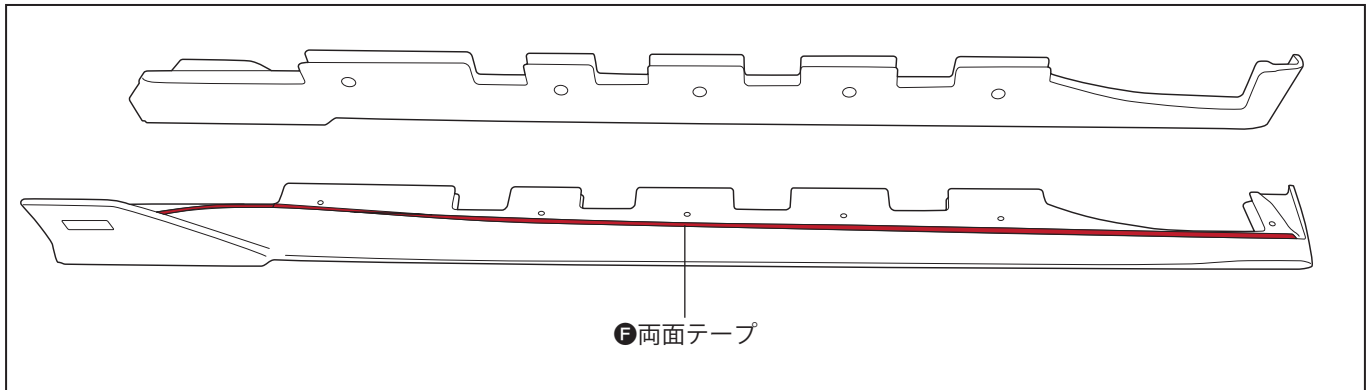


素地品は塗装前に必ず仮合わせをして、各部に不具合がないかを確認してください。

注意

塗装後の交換には応じられません。

- ①塗装面の汚れ、ゴミ、ホコリ取除いてください。
- ②塗装ムラ、ピンホールの発生を防ぐため、塗装前に水研ぎ（ゲルコート的光沢が消えるまで）を行い、足づけを行ってください。
- ③ホワイトガソリンやイソプロピルアルコール（IPA）を使用し、塗装面を丁寧に脱脂した後、サフェーサー処理を施します。
- ④塗装を施します。塗装乾燥の加熱温度は、製品変形の恐れがあるため、40 度以下で行ってください。
- ⑤塗装後、ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール（IPA）を使用し、脱脂をおこなったのちイラストを参考に**F**両面テープを貼付けます。



注意

本製品は FRP 製です。適切な塗料、方法にて塗装を行ってください。